

**大阪府立こんごう福祉センター改築工事
－ 竣工後の景観形成の目標達成評価 －**

大阪府立こんごう福祉センターの概要

◆大阪府立こんごう福祉センター(福祉型障がい児入所施設)改築工事基本設計業務
公募型プロポーザルの概要より

計画概要

委託名称	大阪府立こんごう福祉センター（福祉型障がい児入所施設）改築工事基本設計業務
計画場所	富田林市大字甘南備
敷地面積	815,290 ㎡
計画規模	延べ面積 2,805㎡ 入所施設（居住エリア、管理エリア） 駐車場、駐輪場他
想定事業費	約19.5億円※提案内容を拘束するものではない
用途地域	市街化調整区域
事業の背景	府立障がい児入所施設として持つべき機能を持たせつつ、老朽化した施設の建替えを行うことにより、障がい児の福祉の向上に資することを目的とする。
その他	児童福祉法第四十二条第一号に規定する福祉型障害児入所施設 計画敷地はこんごう福祉センターの旧職員住宅エリア

大阪府立こんごう福祉センター福祉型障がい児入所施設改築工事概要

建物名称	大阪府立こんごう福祉センター (福祉型障がい児入所施設)			敷地面積	815,287.62㎡
所在地	富田林市大字甘南備				
最寄駅	近鉄南大阪線富田林駅からバス25分				
用途地域	市街化調整区域	建ぺい率	60%	容積率	200%
計画概要					
	構造	階数	棟数	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)
本館棟	RC造	平屋建	1	3,058.73㎡	2,804.88㎡
ゴミ置き場	S造	平屋建	2	8.00㎡	8.00㎡
自転車置き場	S造	平屋建	1	11.16㎡	11.16㎡

工期 契約日の翌日～令和5年1月27日

- 建築工事一式
- ・地盤改良工事一式
 - ・植栽工事一式
 - ・外構工事一式

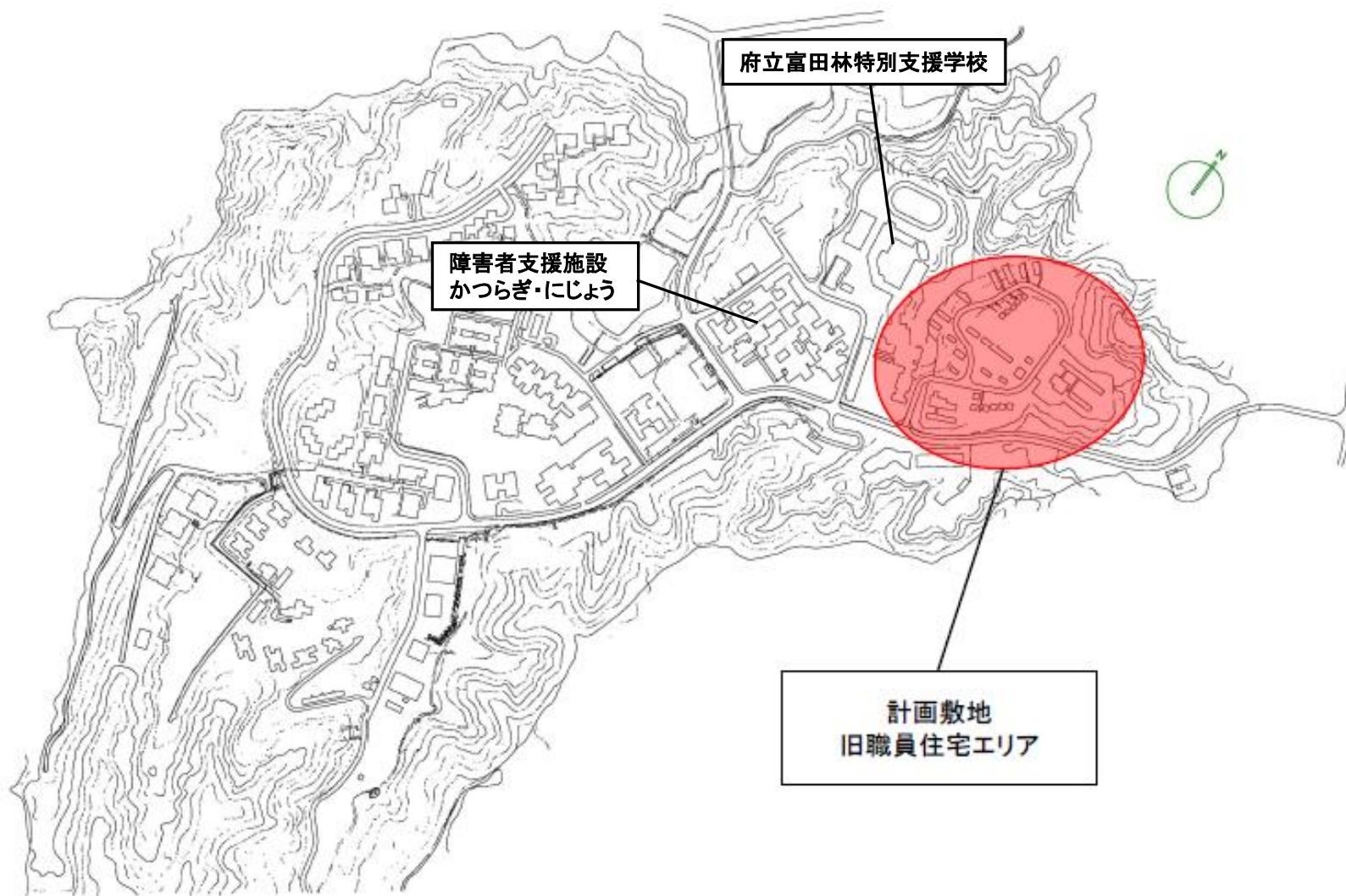
橋梁改修工事一式

◆大阪府立こんごう福祉センター福祉型障がい児入所施設改築工事



付近見取り図

◆大阪府立こんごう福祉センター(福祉型障がい児入所施設)改築工事基本設計業務
公募型プロポーザルの概要より



敷地図

◆大阪府立こんごう福祉センター(福祉型障がい児入所施設)改築工事基本設計業務
公募型プロポーザルの概要より



航空写真

景観アドバイス会議での主な意見

➤ 周囲の建物との関係

- ・「かつらぎ・にじょう」と「富田林支援学校」と今回の建物が、1つの敷地の中にあるような構成だと思う。

この3つを1つの施設であるとして、沿道から見たランドスケープをきちんと設計すべき。

- ・近接する「かつらぎ・にじょう」では、黄色い壁によって動線の誘導を図り、全体を構成している。

中庭(坪庭)をちりばめるなどの工夫を施している。こういった空間構造を踏襲していくことも大切。

- ・「かつらぎ・にじょう」も今回の計画建物もどちらも居住施設のため、**居住施設としてのテイスト**で取り入れられるものは取り込んでどうか。

- ・「かつらぎ・にじょう」、「富田林支援学校」と今回の建物の3つの施設はほぼ色味がそろってくると思うので、**基調色はあわせてもらいたい**。そのうえでポイントカラーはそれぞれの建物で変えてもよい。

➤ 樹木の整理

- ・敷地全体としてかなり樹木がうっそうとしており、今のままでは多すぎ・茂りすぎ。(計画建物北側の)谷に面した緑をどう処理するか、建物内部からうまく緑を見せるといった課題もあるため、**残す樹木と脱木する樹木を早い段階で整理**した方がよい。

- ・沿道(敷地内通路)からのアプローチの部分は人の目にも触れやすいため、**今の段階から樹木の計画等**はしておいた方がよい。

- ・通路(建物計画地北西部の広場外周道路)や駐車場部分についても、**残す樹木はどれにするのか**等、検討されたい。

➤ 広場・通路部分

- ・建物周囲の通路の取り方は建物とセットで考えてはどうか。広場のつくりこみを考えてもらいたい。

➤ 建物デザイン等

- ・アプローチ景観の右側のフェンスは高くする必要はない。色も白ではなく明度の低い目立たないものがよい。
- ・単に敷地の境界線にフェンスを沿わせるのではなく、必要な場所を把握して設置すべき。エントランス周りの閉塞感と硬い表情をやわらげる工夫が必要。
- ・周辺の居室(事務室等)のエントランスアプローチ側の開口部を増やす、前庭を含めたエントランスとしての空間のまとまりをつくる、エントランス内部にも人の溜まれるスペースをつくり前庭部分に緑、高木等を配置して住宅の前庭のように演出する等検討してはどうか。
- ・建物周囲のフェンスのデザインも工夫をしてもらいたい。あまり目立たない方がよい。建物全体、庇などで横のラインが強調されているので、横のラインを強調するようなデザインとしてはどうか。
- ・庇で横ラインが強調されているので、それを活かすためにも、エントランス付近に設置されている柱は、赤でなく黒い方がよい。
- ・平屋の建物のため単調になりやすいので、壁の素材の使い分けによってそれをクリアするよう検討。
- ・シンボルツリーは、四季の変化を演出できるようなものであると好ましい。
- ・駐車場、全てアスファルトで、単にラインを引くのではなく、少し素材を変える等、工夫された方が質の高いものとなる。車路と歩道の表情を変えられるなどすれば、歩きやすいと思う。

〔当初の配置計画〕



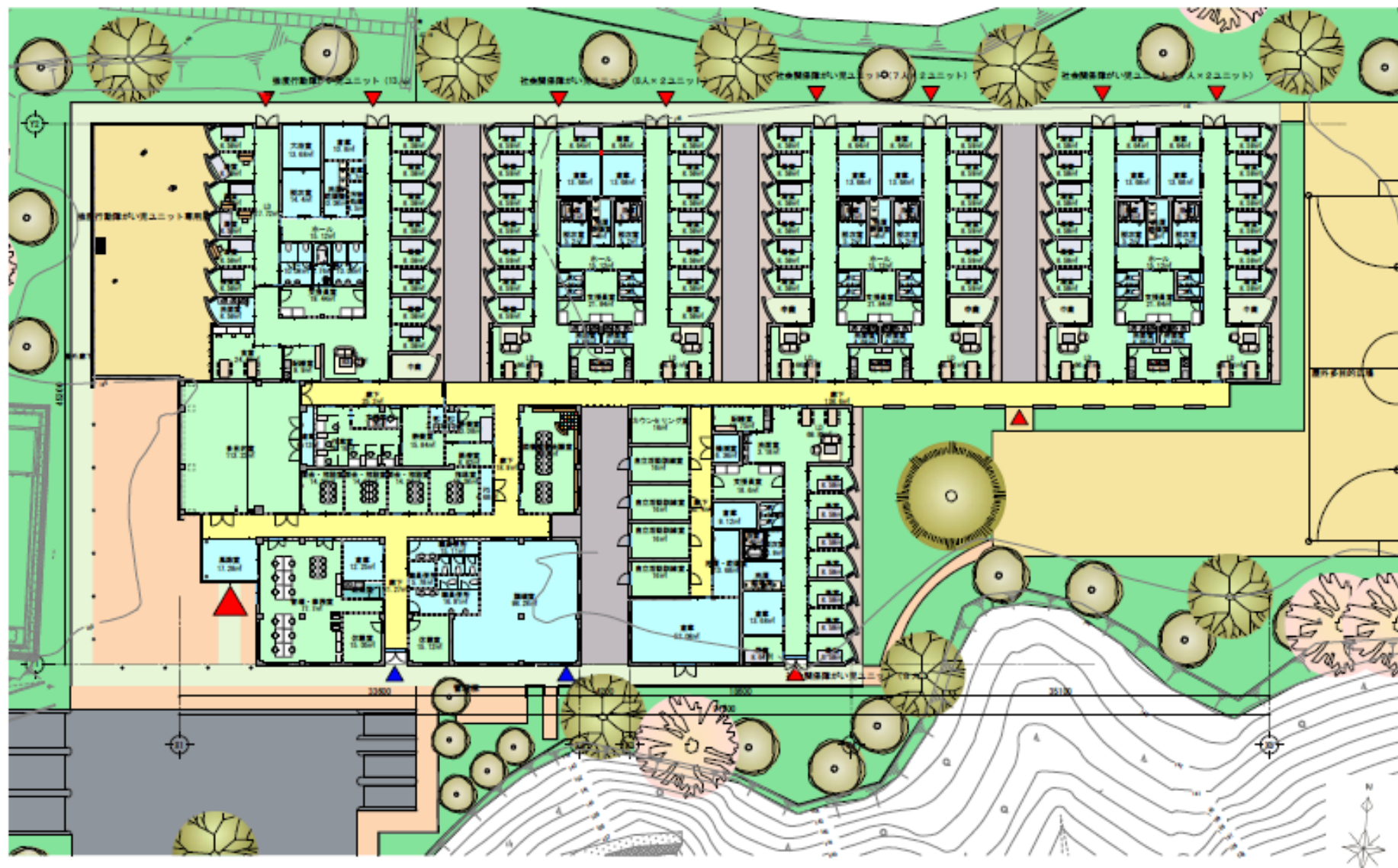
〔修正後の配置計画〕



〔竣工後 航空写真(敷地全体)〕



〔当初の平面図〕



〔修正後の平面図〕

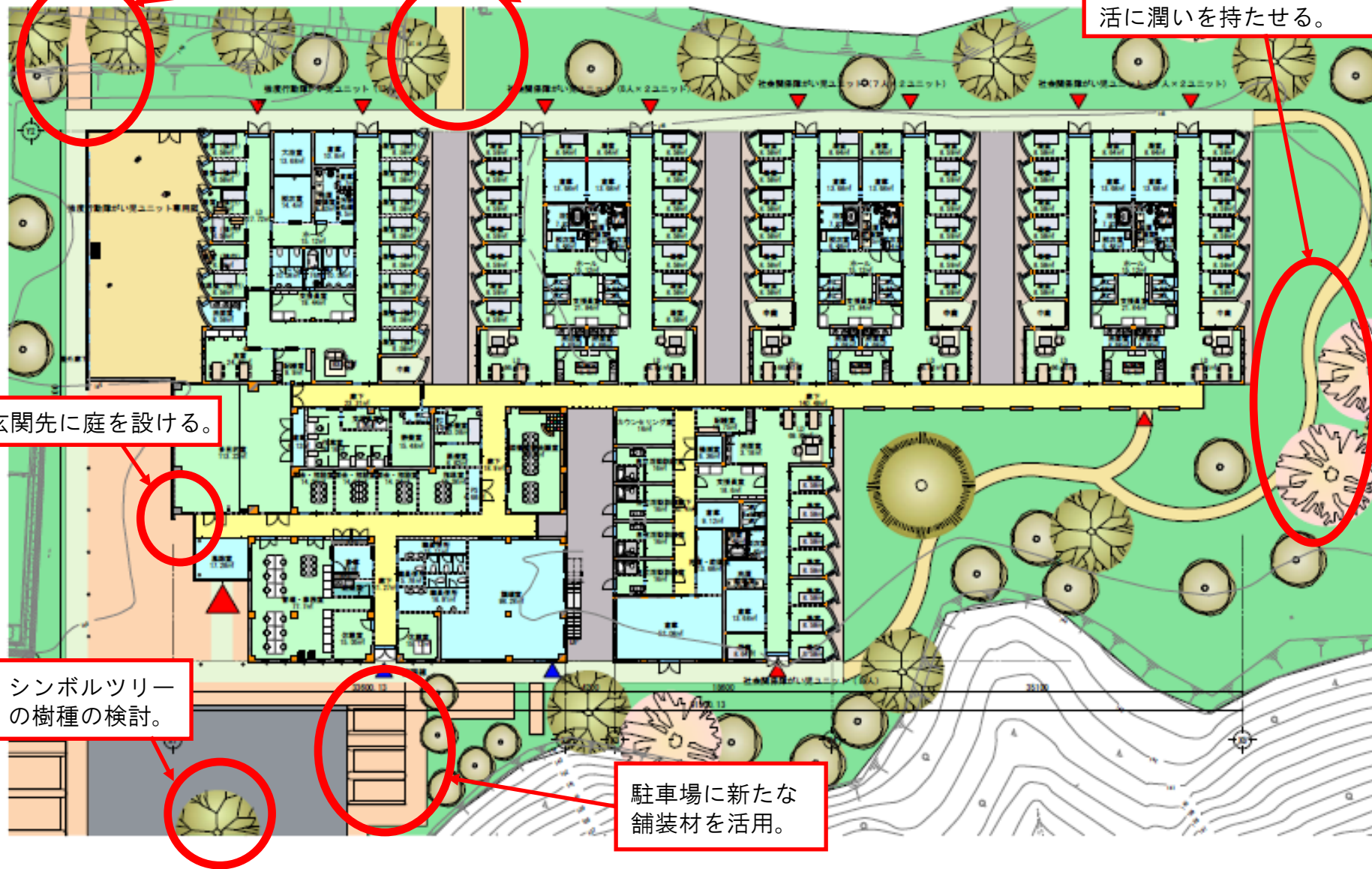
屋外多目的広場は位置を変更し、通路を見直し。

建物東側にも四季の感じられる散策路を計画し生活に潤いを持たせる。

玄関先に庭を設ける。

シンボルツリーの樹種の検討。

駐車場に新たな舗装材を活用。



屋外多目的広場は位置を
変更し、通路を見直し。

建物東側にも四季の感じ
られる散策路を計画し生
活に潤いを持たせる。

玄関先に庭を設ける。

シンボルツリー
の樹種の検討。

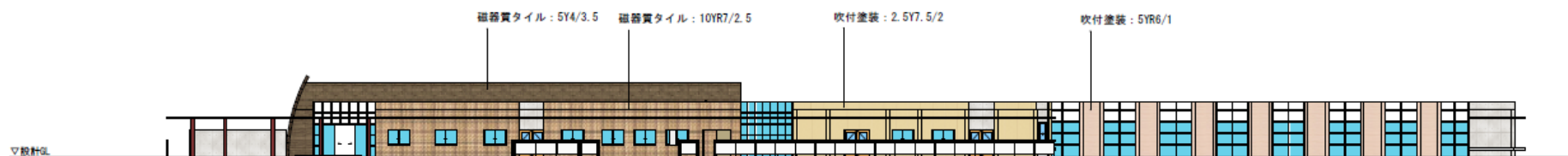


〔当初の立面図〕

北立面



南立面

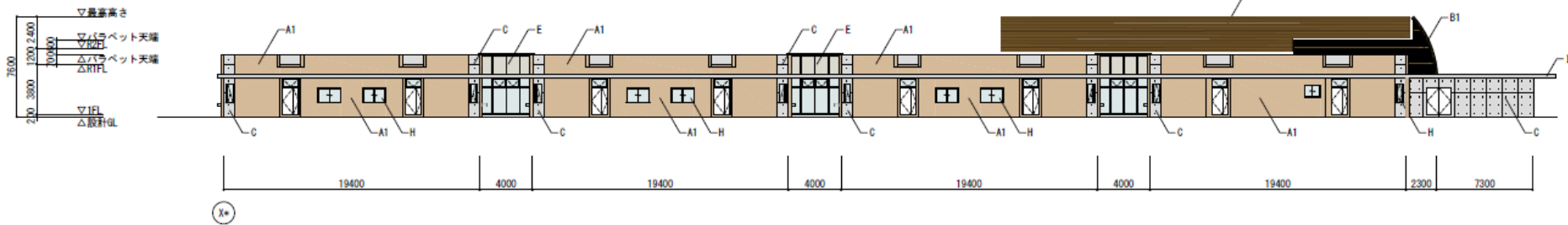


〔修正後の立面図〕

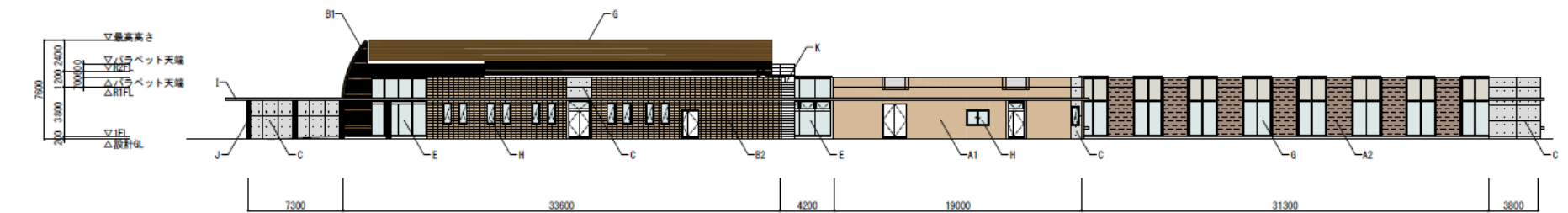
意見を踏まえた
色彩・材質
の検討。

マンセル値		外部仕上凡例
2. 5Y7. 5/2	A1	RCの上、フッ素樹脂吹付塗装（ゆず肌仕上）
5YR6/1	A2	RCの上、フッ素樹脂吹付塗装（くし目仕上）
5Y4/3. 5	B1	RCの上、タイルA（磁器質タイル）
2. 5Y7. 5/2	B2	RCの上、タイルB（磁器質タイル）
7. 5B7. 5/0. 5	C	RC打放し仕上の上、撥水材クリア塗装
2. 5Y7. 5/2	D	PCaの上、フッ素樹脂吹付塗装（ゆず肌仕上）
	E	アルミ+木製複合カーテンウォール
	F	アルミ笠木
5Y4/3. 5	G	アルミ製目隠しルーバー（木目調）
	H	アルミサッシ
	I	庇、スラブ
	J	鉄骨柱（DP塗）
	K	屋外階段（RC造）

北立面



南立面





〔当初のエントランス〕



西側エントランス

〔修正後のエントランス〕



柱を赤から
黒に変更。

硬い表情をや
わらげる工夫。

建物周囲のフェ
ンスのデザイ
ンを目立たないよ
う工夫。

エントランス前



柱を赤から
黒に変更。

硬い表情をやわらげる
工夫。

建物周囲のフェ
ンスのデザイン
を目立たないよ
う工夫。



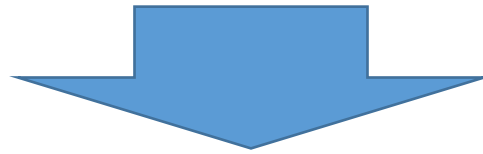
〔全体パース〕





【景観形成の目標1】

子どもたちが、自然あふれる美しい環境の中で落ち着いた生活が送れるよう、緑に囲まれ自然と一体となった施設づくりを心掛ける。



【景観形成の計画1】

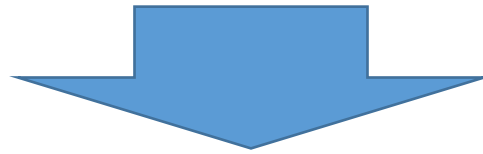
周囲の緑を生かした建物配置計画、平面計画を行った。

大阪府立こんごう福祉センター福祉型障がい児入所施設改築工事



【景観形成の目標2】

子どもたちの毎日の生活を安心して安全に暮らすことができる建物や設備を設え、それが意匠として意味のある形に表出するような建物づくりを行う。



【景観形成の計画2】

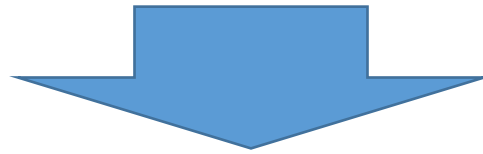
生活する子どもたちにも親しみやすい平屋づくりのロースケールな建物を計画した。

大阪府立こんごう福祉センター福祉型障がい児入所施設改築工事



【景観形成の目標3】

子どもたちの安全を守るため、駐車場や車両の通行するエリアと生活するエリアは区分して配置し、周囲には樹木を植えるなどの配慮を行う。



【景観形成の計画3】

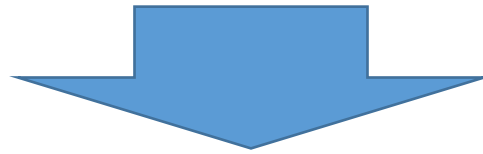
居住エリアを緑豊かな東側に、管理エリアを全体を見渡す中央部に、駐車場などのエリアを南西エリアに計画した。
建物の導入路は、歩車分離を図り安全なものとし、緑化など修景に配慮した。

大阪府立こんごう福祉センター福祉型障がい児入所施設改築工事



【景観形成の目標4】

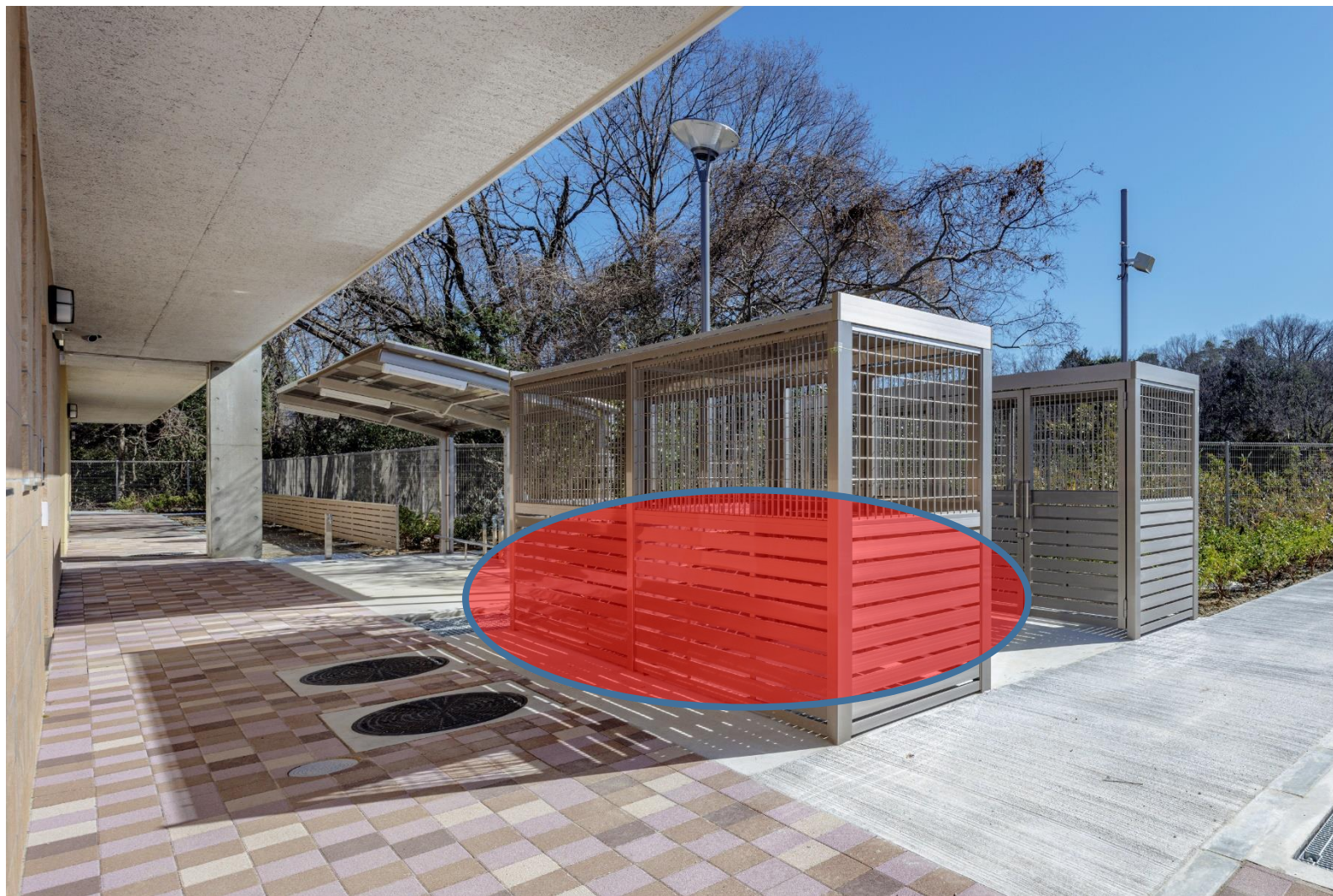
附属建屋を設ける場合は、配置計画により目立たない配慮をしたり、樹木での目隠しを行う等の配慮を行う。



【景観形成の計画4】

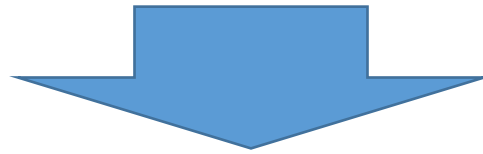
自転車置き場やごみ置場などは集約配置し、樹木などで目隠しを行い修景に配慮した。

大阪府立こんごう福祉センター福祉型障がい児入所施設改築工事



【景観形成の目標5】

太陽光発電パネルを除いて、屋上に設備を設置する場合は、建物と意匠的に一体となるような目隠し壁などで周辺から見えない配慮を行う。



【景観形成の計画5】

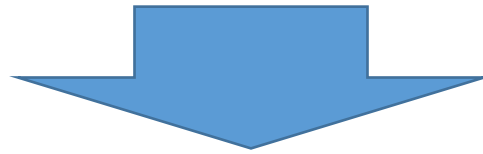
屋上設置の設備機器は目隠し壁にて周囲から見えないようにした。

大阪府立こんごう福祉センター福祉型障がい児入所施設改築工事



【景観形成の目標6】

舗装については車路についてはアスファルト舗装を行うが、緑地の散策路などについては自然色舗装を用い、自然景観との調和に配慮する。



【景観形成の計画6】

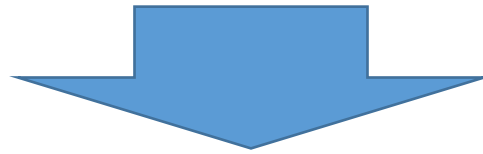
アスファルト舗装や自然色舗装、その他舗装を適切に配置し、自然景観の保全と修景計画を行った。

大阪府立こんごう福祉センター福祉型障がい児入所施設改築工事



【景観形成の目標7】

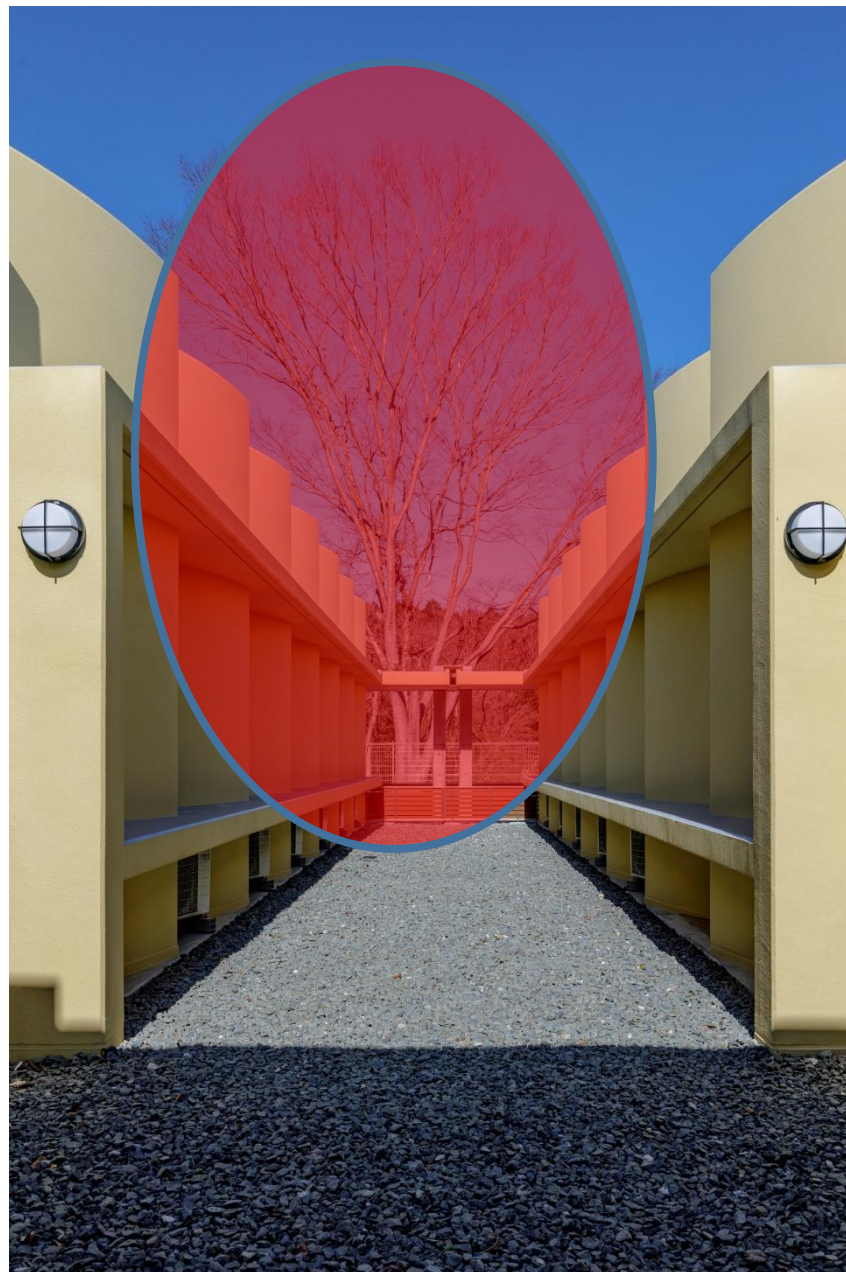
既存樹木の調査を行い、既存建物の解体工事との調整も必要ではあるが、可能な範囲で主要な樹木の保存を行う。



【景観形成の計画7】

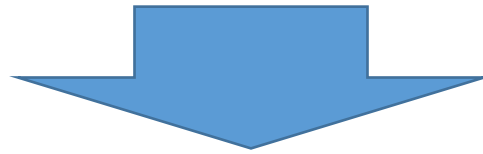
可能な範囲で既存樹木の保存を行った。

大阪府立こんごう福祉センター福祉型障がい児入所施設改築工事



【景観形成の目標8】

アプローチからの建築物、外構等の見え方見せ方に留意して計画する。



【景観形成の計画8】

敷地アプローチ部分について、既存樹木含め景観をシミュレートし、設計に生かした。

大阪府立こんごう福祉センター福祉型障がい児入所施設改築工事



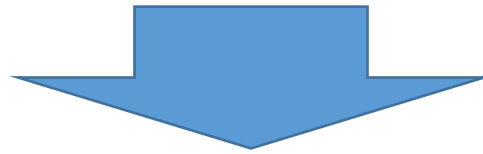
大阪府立こんごう福祉センター福祉型障がい児入所施設改築工事



実施設計時のイメージパース

【景観形成の目標9】

敷地外周部の通路については、周辺の緑のつけ方、建築物等の見え方に配慮する。



【景観形成の計画9】

敷地外周部の散策路について、景観をシミュレートし緑のつけ方や建物の見え方を検討した。

大阪府立こんごう福祉センター福祉型障がい児入所施設改築工事

